

表 9.9-14(4) 保全すべき種の予測結果（コギシギシ）

項目	内容				
主な生育環境	河川沿いの砂地、田の畦、造成地等の土壌攪乱のある日当たりのよい湿った草地。				
	予測地域 (ha)	1.7	対象区域内 (ha)	0	予測地域に対する 消失の割合 (%)
現地確認状況	対象事業実施区域外の水田で計約 54 例が確認された。				
	対象事業 実施区域内	0 例	対象事業 実施区域外	約 54 例	
予測結果	<p>対象事業実施区域周辺で確認されたコギシギシは約 54 例で、対象事業実施区域内では確認されなかったことから、生育地は残される。</p> <p>本種の主な生育環境は、河川沿いの砂地、田の畦、造成地等の土壌攪乱のある日当たりのよい湿った草地であり、対象事業実施区域内にこのような環境はないことから、事業の実施に伴う改変等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により光環境の変化による間接的影響は低減されることから、工事中における間接的影響は極めて小さいと考えられる。なお、濁水による生育環境の質的变化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生育環境の改変による影響、及び生育環境への間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p>				

確認位置

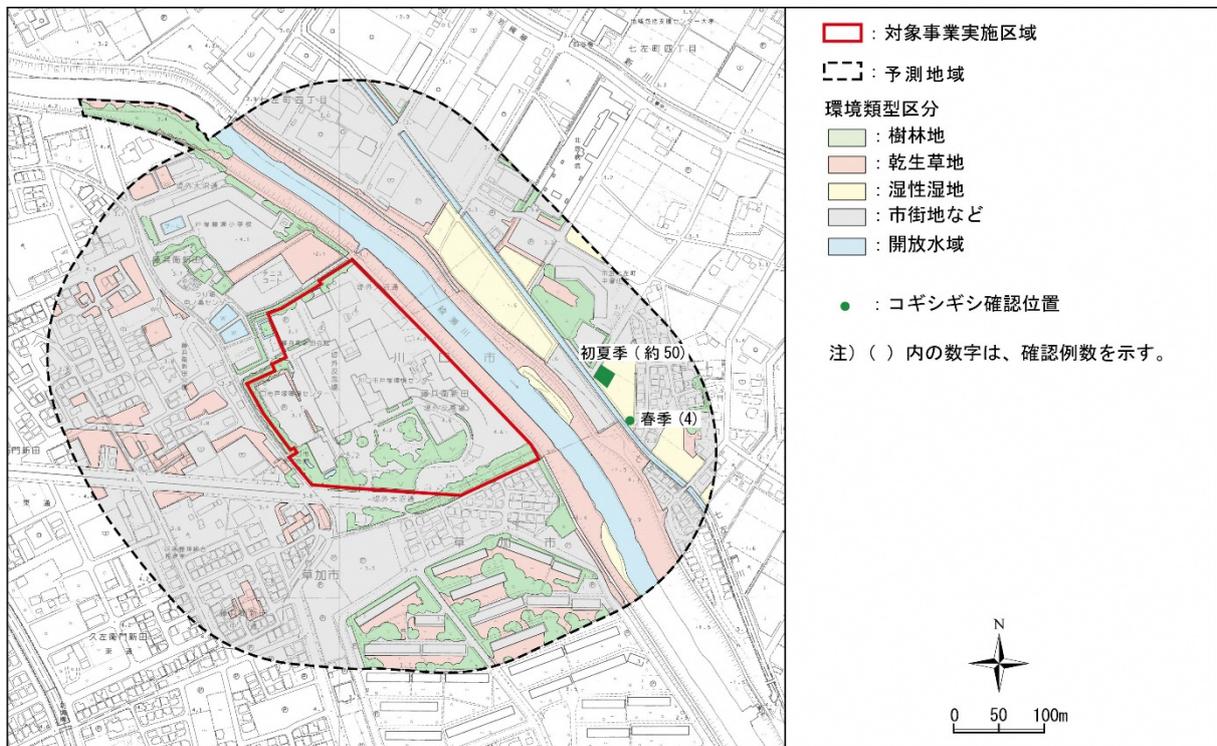
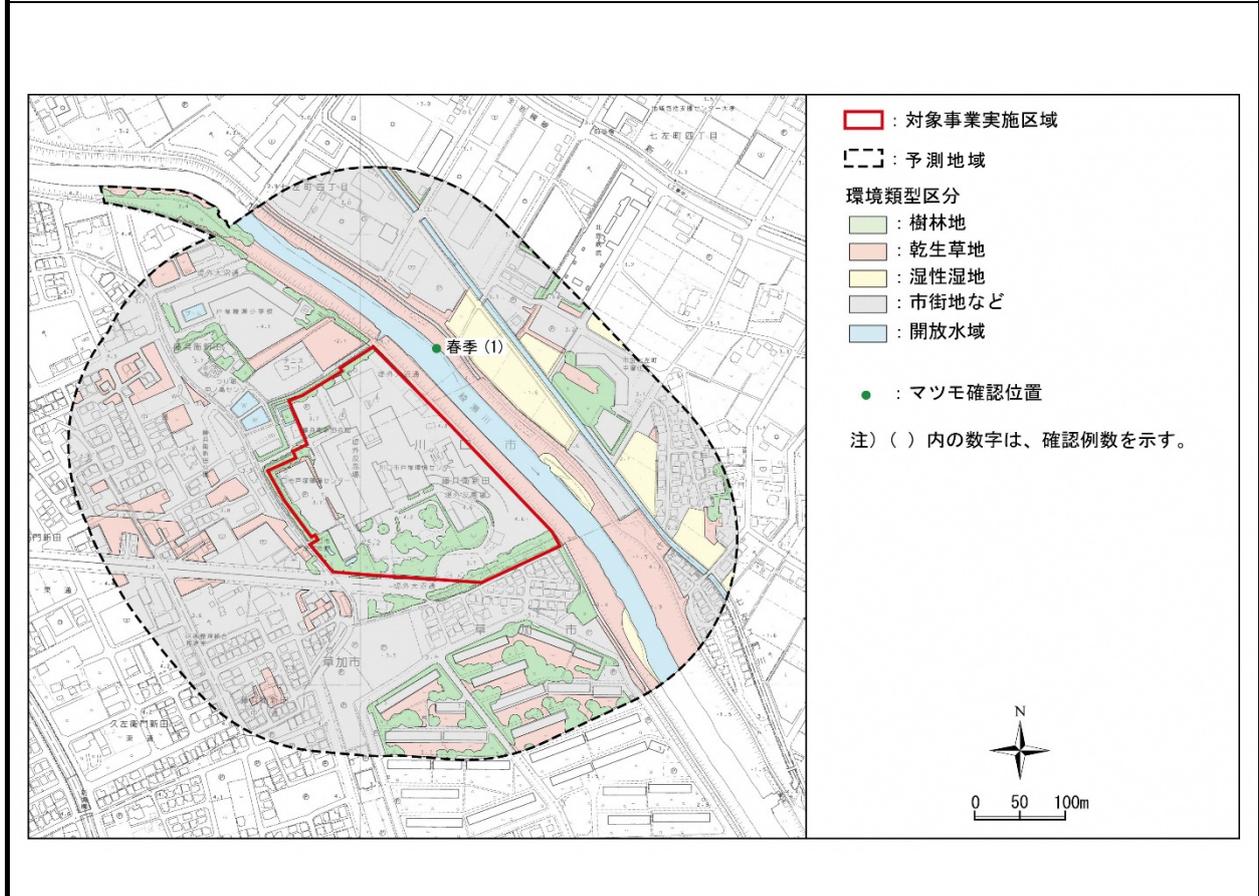


表 9.9-14(5) 保全すべき種の予測結果 (マツモ)

項目	内容				
主な生育環境	湖沼、溜池、水路等に生育する。				
	予測地域 (ha)	2.3	変更区域内 (ha)	0 ^{注)}	予測地域に対する 消失の割合 (%)
現地確認状況	対象事業実施区域外の綾瀬川で1例が確認された。				
	対象事業 実施区域内	0例	対象事業 実施区域外	1例	
予測結果	<p>対象事業実施区域周辺で確認されたマツモは1例で、対象事業実施区域内では確認されなかったことから、生育地は残される。</p> <p>本種の主な生育環境は、湖沼、溜池、水路等である。対象事業実施区域内の開放水域は人工的な庭園であり、本種の生育環境ではないことから、事業の実施に伴う変更等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により光環境の変化による間接的影響は低減されることから、工事中における間接的影響は極めて小さいと考えられる。なお、濁水による生育環境の質的变化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生育環境の変更による影響、及び生育環境への間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p>				

確認位置



注) 変更区域内の開放水域は人工的な庭園であり、本種の生育環境ではないため、変更区域内の生育環境から除外した。

表 9.9-14(6) 保全すべき種の予測結果 (コイヌガラシ)

項目	内容				
主な生育環境	水湿地、休耕田。				
	予測地域 (ha)	1.7	対象区域内 (ha)	0	予測地域に対する消失の割合 (%)
現地確認状況	対象事業実施区域外の水田の畔で7例が確認された。				
	対象事業実施区域内	0例	対象事業実施区域外	7例	
予測結果	<p>対象事業実施区域周辺で確認されたコイヌガラシは7例で、対象事業実施区域内では確認されなかったことから、生育地は残される。</p> <p>本種の主な生育環境は、水湿地、休耕田であり、対象事業実施区域内にこのような環境はないことから、事業の実施に伴う改変等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により光環境の変化による間接的影響は低減されることから、工事中における間接的影響は極めて小さいと考えられる。なお、濁水による生育環境の質的变化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生育環境の改変による影響、及び生育環境への間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p>				

確認位置

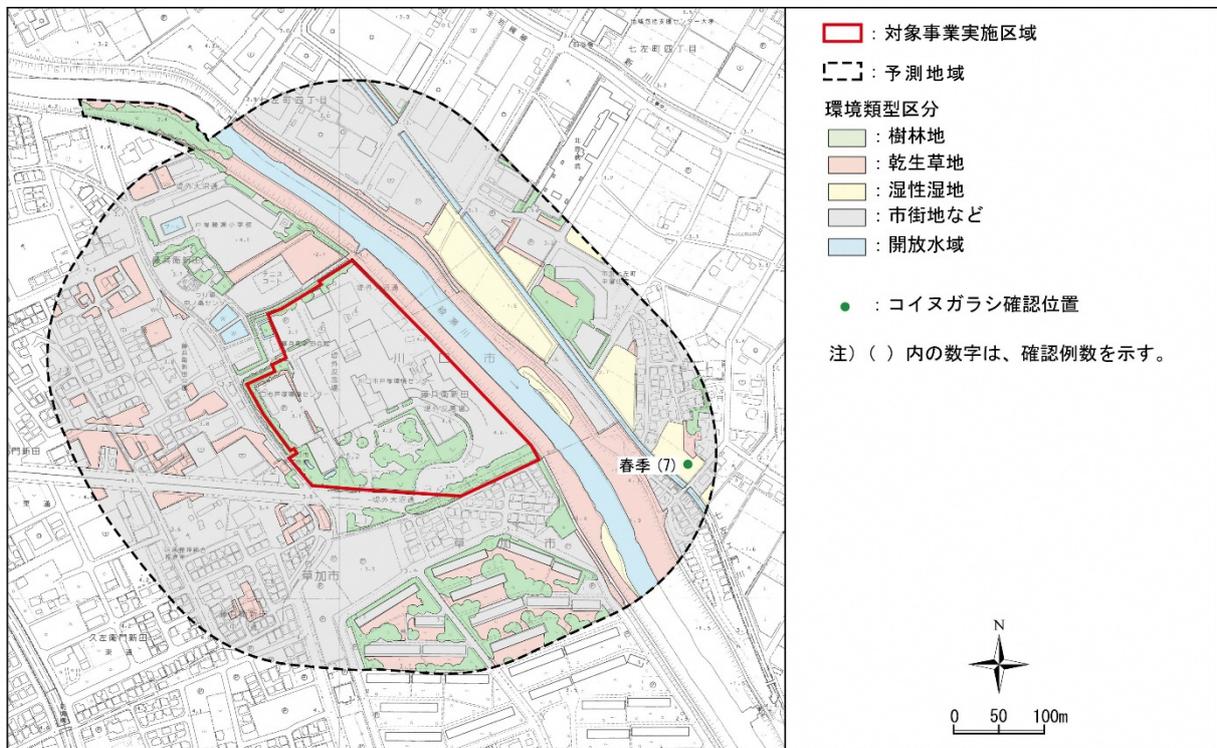


表 9.9-14(7) 保全すべき種の予測結果 (タコノアシ)

項目	内容				
主な生育環境	日当たりのよい泥湿地、沼、水田、河原等を好むが、かなりの乾燥に耐える。このため、水位の変動する場所に群落をつくる。				
	予測地域 (ha)	7.5	対象事業実施区域内 (ha)	0	予測地域に対する消失の割合 (%)
現地確認状況	対象事業実施区域外の綾瀬川河川敷の湿地で計約 180 例が確認された。				
	対象事業実施区域内	0 例	対象事業実施区域外	約 180 例	
予測結果	<p>対象事業実施区域周辺で確認されたタコノアシは約 180 例で、対象事業実施区域内では確認されなかったことから、生育地は残される。</p> <p>本種の主な生育環境は、日当たりのよい泥湿地、沼、水田、河原等であり、対象事業実施区域内にこのような環境はないことから、事業の実施に伴う改変等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により光環境の変化による間接的影響は低減されることから、工事中における間接的影響は極めて小さいと考えられる。なお、濁水による生育環境の質的变化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生育環境の改変による影響、及び生育環境への間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p>				

確認位置

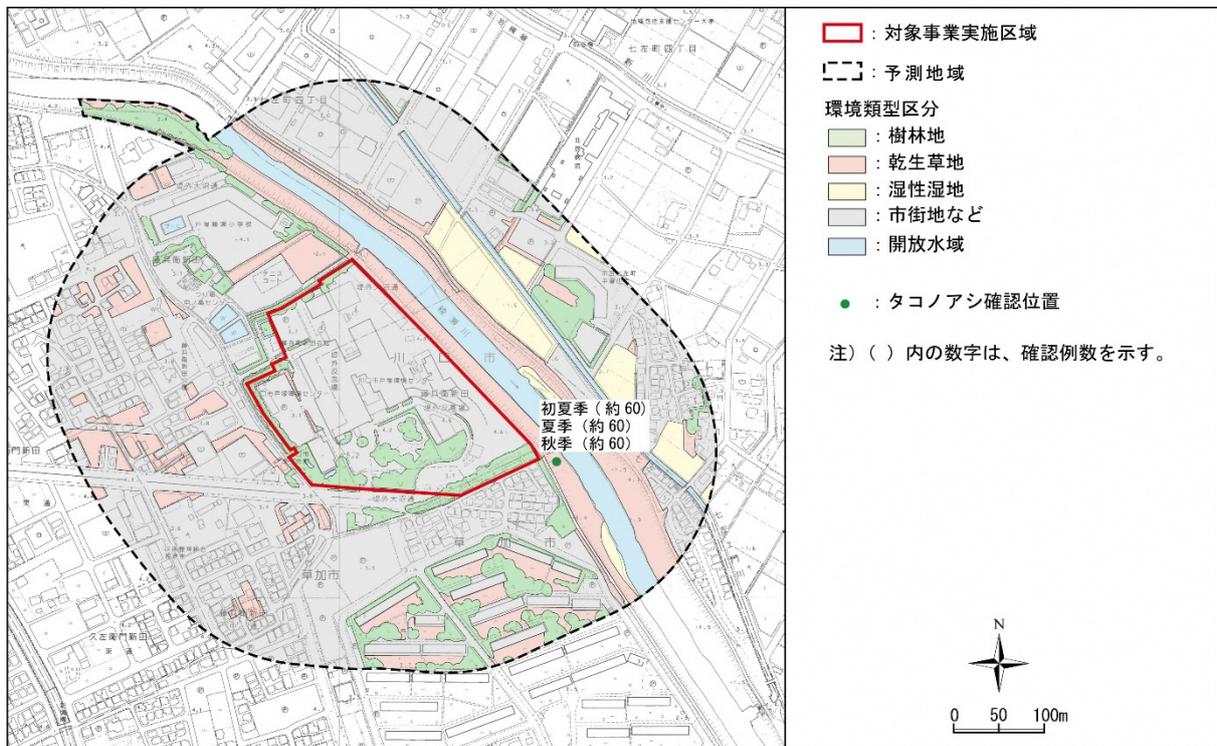


表 9.9-14(8) 保全すべき種の予測結果 (ナガボノシロワレモコウ)

項目	内容				
主な生育環境	トダシバ、ヌマガヤ等の生育する湿地、水田の土手等				
	予測地域 (ha)	7.5	改変区域内 (ha)	0	予測地域に対する消失の割合 (%)
現地確認状況	対象事業実施区域外の綾瀬の森の湿地で計 2 例、調査範囲南東側の湿地 4 箇所です約 118 例、対象事業実施区域東側の敷地外の草地で約 50 例が確認された。				
	対象事業実施区域内	0 例	対象事業実施区域外	約 170 例	
予測結果	<p>対象事業実施区域周辺で確認されたナガボノシロワレモコウは約 170 例で、対象事業実施区域内では確認されなかったことから、生育地は残される。</p> <p>本種の主な生育環境は、湿地、水田の土手等であり、対象事業実施区域内にこのような環境はないことから、事業の実施に伴う改変等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により光環境の変化による間接的影響は低減されることから、工事中における間接的影響は極めて小さいと考えられる。なお、濁水による生育環境の質的变化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生育環境の改変による影響、及び生育環境への間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p>				

確認位置

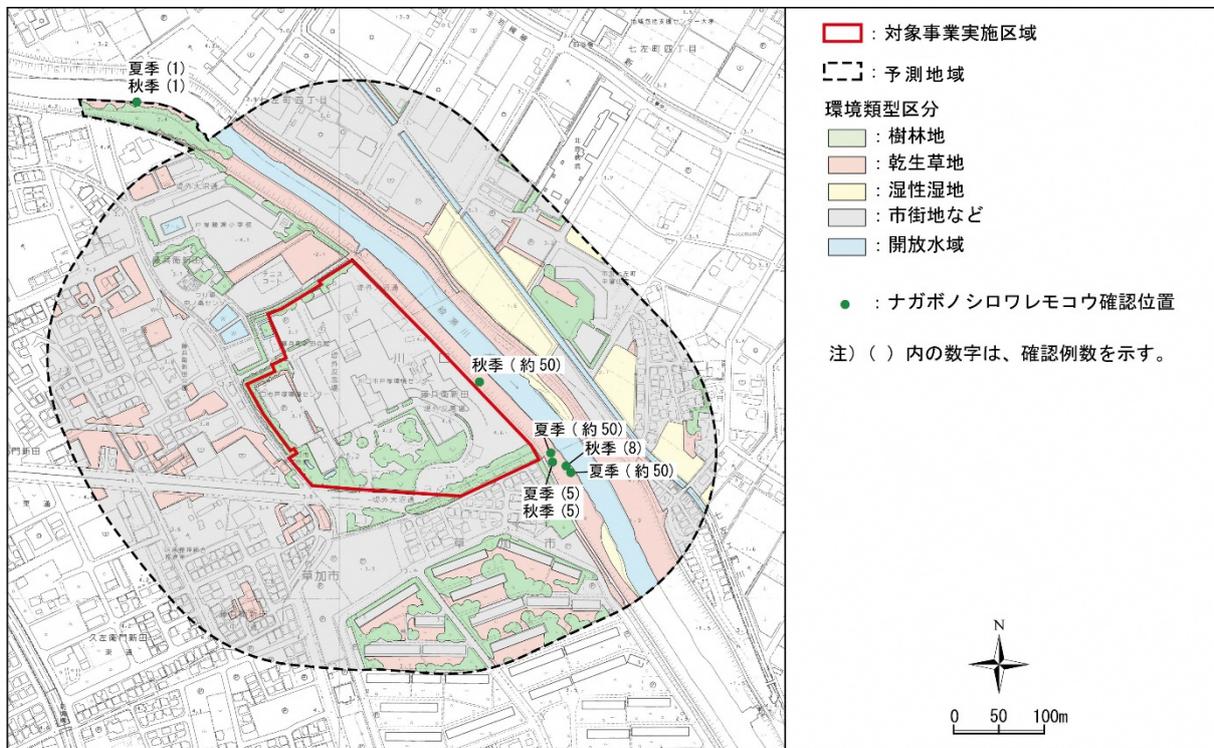


表 9.9-14(9) 保全すべき種の予測結果 (ナガボノアカワレモコウ)

項目	内容					
主な生育環境	低地～山地の、ヌマガヤ等が生育する日当たりのよい湿原、水田周辺の土手、河川堤防の草地等。					
	予測地域 (ha)	7.5	変更区域内 (ha)	0	予測地域に対する消失の割合 (%)	0
現地確認状況	対象事業実施区域外の綾瀬の森のセイタカアワダチソウの草地で 1 例、対象事業実施区域外の綾瀬川の河川敷の草地で 4 例が確認された。					
	対象事業実施区域内	0 例	対象事業実施区域外	5 例		
予測結果	<p>対象事業実施区域周辺で確認されたナガボノアカワレモコウは 5 例で、対象事業実施区域内では確認されなかったことから、生育地は残される。</p> <p>本種の主な生育環境は、日当たりのよい湿原、水田周辺の土手、河川堤防の草地等であり、対象事業実施区域内にこのような環境はないことから、事業の実施に伴う変更等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により光環境の変化による間接的影響は低減されることから、工事中における間接的影響は極めて小さいと考えられる。なお、濁水による生育環境の質的变化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生育環境の改変による影響、及び生育環境への間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p>					

確認位置

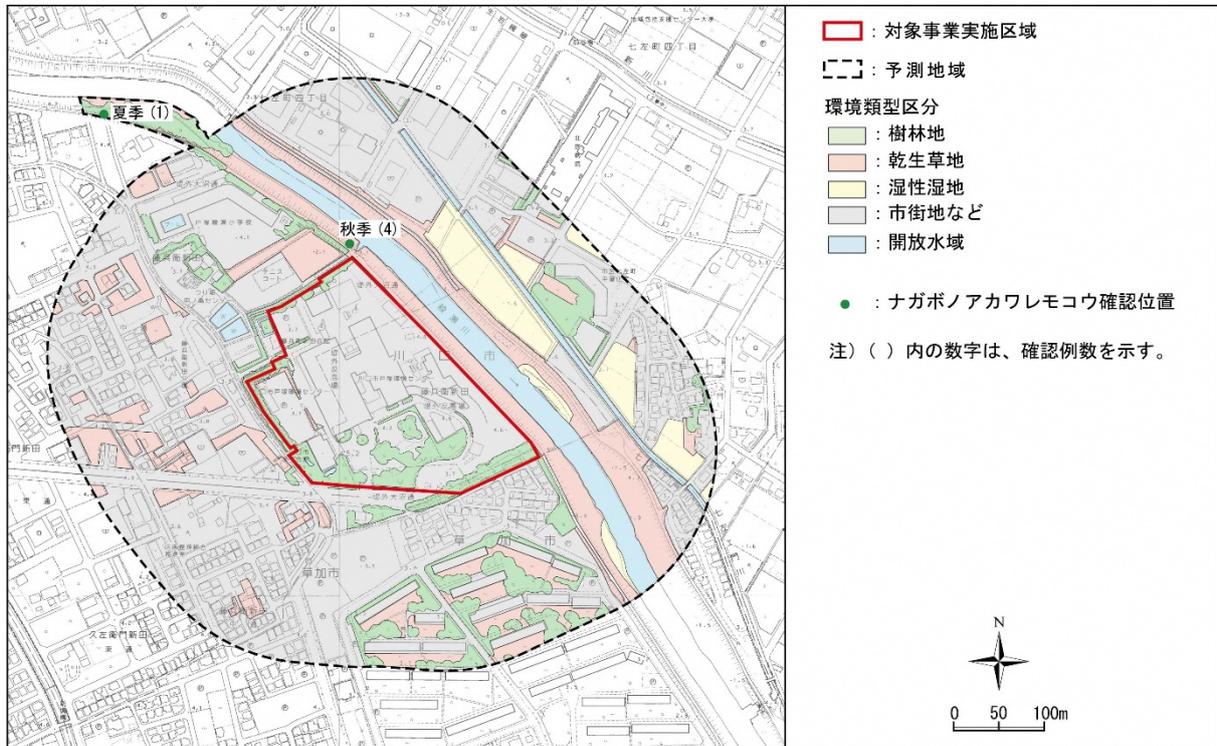


表 9.9-14(10) 保全すべき種の予測結果（ワレモコウ属の一種）

項目	内容					
主な生育環境	【ナガボノシロワレモコウ】 トダシバ、ヌマガヤ等の生育する湿地、水田の土手等 【ナガボノアカワレモコウ】 低地～山地でヌマガヤ等が生育する日当たりのよい湿原、水田周辺の土手、河川堤防の草地等。					
	予測地域 (ha)	7.5	変更区域内 (ha)	0	予測地域に対する 消失の割合 (%)	0
現地確認状況	対象事業実施区域外の綾瀬の森の湿地で約 600 例、綾瀬川の河川敷の湿地 2 箇所です計約 90 例が確認された。綾瀬川堤防上の道路際で約 20 例、綾瀬川の河川敷の草地で約 300 例が確認された。					
	対象事業 実施区域内	0 例	対象事業 実施区域外	約 1,010 例		
予測結果	対象事業実施区域周辺で確認されたワレモコウ属の一種は約 1,010 例で、対象事業実施区域内では確認されなかったことから、生育地は残される。 本種の主な生育環境は、湿地、水田周辺の土手、河川堤防の草地等であり、対象事業実施区域内にこのような環境はないことから、事業の実施に伴う変更等の影響はないと考えられる。 工事中は、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により光環境の変化による間接的影響は低減されることから、工事中における間接的影響は極めて小さいと考えられる。なお、濁水による生育環境の質的变化は生じないと考えられる。 供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。 したがって、予測地域における本種の生育環境の変更による影響、及び生育環境への間接的影響は極めて小さいと考えられる。					

確認位置

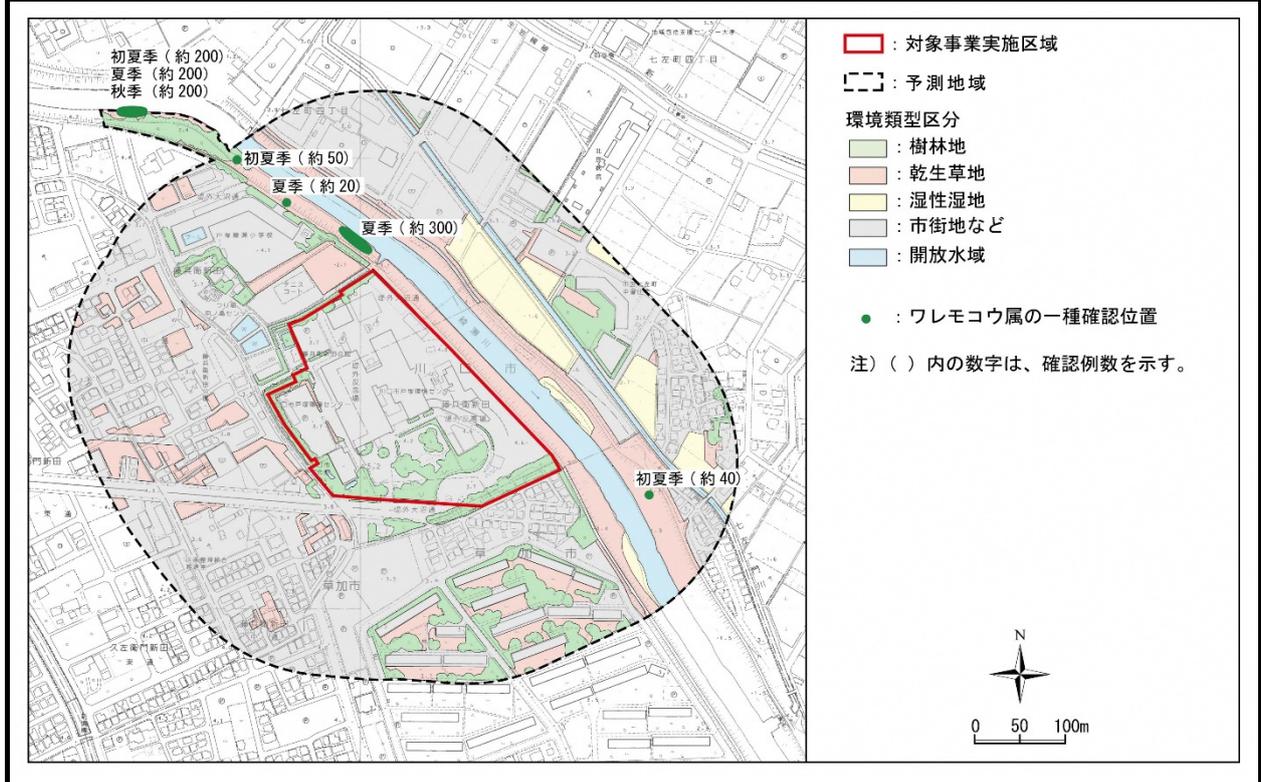


表 9.9-14(11) 保全すべき種の予測結果 (ゴキヅル)

項目	内容				
主な生育環境	河川敷、池沼の周辺の水辺に見られる。				
	予測地域 (ha)	7.5	変更区域内 (ha)	0	予測地域に対する消失の割合 (%)
現地確認状況	対象事業実施区域外の綾瀬の森の湿地 4 箇所、対象事業実施区域南東側の綾瀬川の河川敷の湿地 4 箇所、計約 66 例が確認された。				
	対象事業実施区域内	0 例	対象事業実施区域外	約 117 例	
予測結果	<p>対象事業実施区域周辺で確認されたゴキヅルは約 117 例で、対象事業実施区域内では確認されなかったことから、生育地は残される。</p> <p>本種の主な生育環境は、河川敷、池沼の周辺の水辺であり、対象事業実施区域内にこのような環境はないことから、事業の実施に伴う変更等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により光環境の変化による間接的影響は低減されることから、工事中における間接的影響は極めて小さいと考えられる。なお、濁水による生育環境の質的变化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生育環境の改変による影響、及び生育環境への間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p>				

確認位置

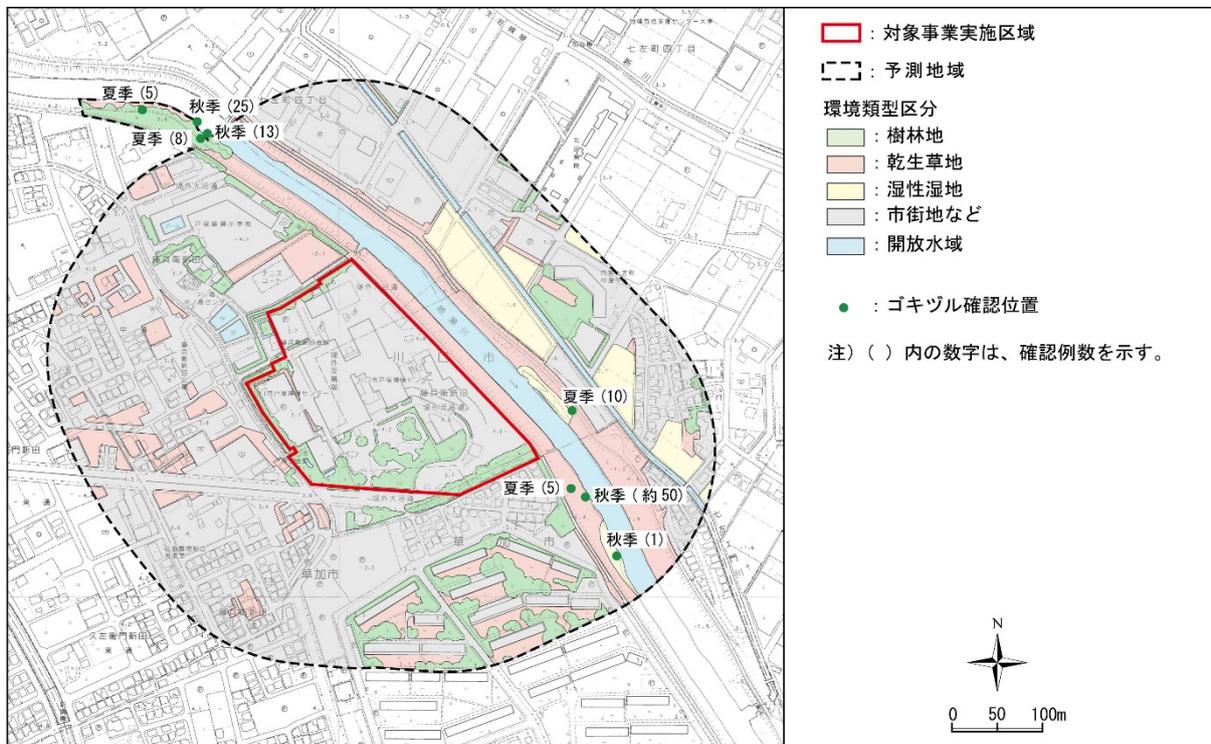


表 9.9-14(12) 保全すべき種の予測結果（ウスゲチョウジタデ）

項目	内容				
主な生育環境	低地の日当たりのよい水田や湿地。				
	予測地域 (ha)	1.7	改変区域内 (ha)	0	予測地域に対する 消失の割合 (%)
現地確認状況	対象事業実施区域外のクワイ畑や水田の畔の3箇所で計約90例が確認された。				
	対象事業 実施区域内	0例	対象事業 実施区域外	約90例	
予測結果	<p>対象事業実施区域周辺で確認されたウスゲチョウジタデは約90例で、対象事業実施区域内では確認されなかったことから、生育地は残される。</p> <p>本種の主な生育環境は、低地の日当たりのよい水田や湿地であり、対象事業実施区域内にこのような環境はないことから、事業の実施に伴う改変等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により光環境の変化による間接的影響は低減されることから、工事中における間接的影響は極めて小さいと考えられる。なお、濁水による生育環境の質的变化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生育環境の改変による影響、及び生育環境への間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p>				

確認位置

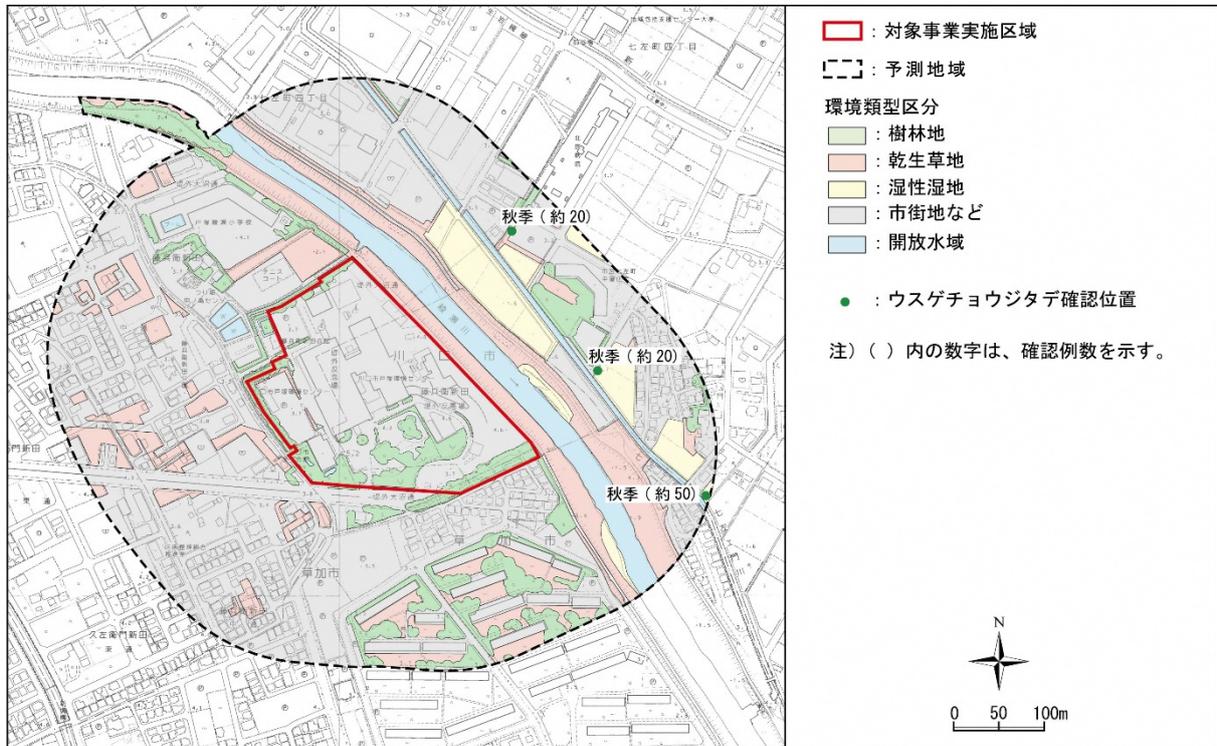
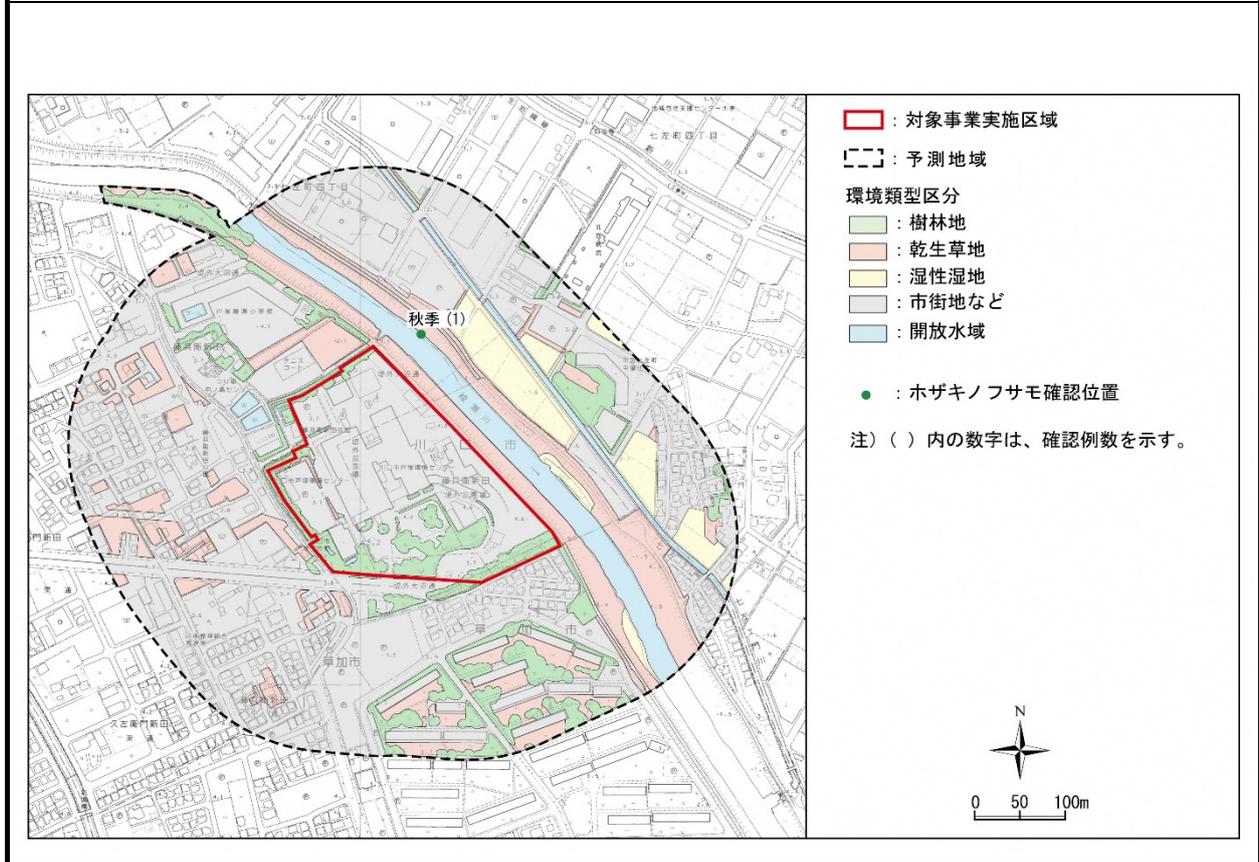


表 9.9-14(13) 保全すべき種の予測結果 (ホザキノフサモ)

項目	内容					
主な生育環境	湖沼、ため池、河川に生育する。					
	予測地域 (ha)	2.3	改変区域内 (ha)	0 ^{注)}	予測地域に対する消失の割合 (%)	0 ^{注)}
現地確認状況	対象事業実施区域外の綾瀬川で1例が確認された。					
	対象事業実施区域内	0例	対象事業実施区域外	1例		
予測結果	<p>対象事業実施区域周辺で確認されたホザキノフサモは1例で、対象事業実施区域内では確認されなかったことから、生育地は残される。</p> <p>本種の主な生育環境は、湖沼、ため池、河川である。対象事業実施区域内の開放水域は人工的な庭園であり、本種の生育環境ではないことから、事業の実施に伴う改変等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により光環境の変化による間接的影響は低減されることから、工事中における間接的影響は極めて小さいと考えられる。なお、濁水による生育環境の質的变化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生育環境の改変による影響、及び生育環境への間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p>					

確認位置



注) 改変区域内の開放水域は人工的な庭園であり、本種の生育環境ではないため、改変区域内の生育環境から除外した。